

横浜市都筑区民文化センター

令和7年度 事業計画書

指定管理者

つづきアート&メディアパートナーズ

# I 令和7度の都筑文化センター指定管理遂行にあたっての基本方針 (重点的に取り組む事項や数値目標等)

## (1) 趣旨(5か年の方針と令和7年度の位置づけ)

私たちが提唱する「暮らしの創造都市：つづき」とは、都筑区民文化センターを拠点とした社会包摂型の新しいコミュニティモデル構想です。横浜市の創造都市政策で語られてきた「文化活動の場の提供」機能に加えて、文化芸術を媒体とした地域課題の解決を促進し、人々をつなぐことで都筑区民の生活に寄り添った文化的ネットワーク形成を進めます。

そのために区民文化センターの使命達成を通した「誰一人取り残さない街＝都筑」の実現に貢献するため共同事業体3社の持つ専門性、他指定管理者施設運営経験を活かし、下記に示す6つ使命と独自に設定するもうひとつの使命を連動させたコンセプトを基にした施設運営を管理運営に取組みます。

## (2) 重点項目(各項目の取組内容に関して、要点を捉え、分かりやすく記載してください。)

### 具体的な6つの使命+1とコンセプト

以上の都筑区の特徴・課題、区民センターの果たす使命を受けて、当団体ではグランドコンセプトを中心とし、6つの使命と、独自に設定するもう一つの使命とを連動させたコンセプトを基にした施設運営を実施します。

#### ●使命1「文化芸術の活動と体験の場となる」(つどう)についての理解

公立文化施設は「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律などの関連法」で定義される「新しい広場」であると考え、区民に開かれた施設運営が必要となります。多様な文化活動の創造力を一層高め、様々な人の居場所(サードプレイス)となるためには、専門性の高い組織による運営が必要です。

#### ●使命2「文化芸術活動を担う人材を育む」(はぐくむ)についての理解

地域文化の振興は活動者だけではなく、リーダーや牽引する人材の育成が不可欠です。地域文化を支える人材を見つけ出し育成するため、文化芸術に限らない様々な拠点と連携し、担い手を育てることができるネットワーク力が必要です。

#### ●使命3「文化芸術の鑑賞の機会を提供する」(であう)についての理解

「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」における「心豊かな市民生活の実現」のためには、質の高い鑑賞機会の創出とともに、地域に根差したコミュニティ文化も掘り起こしが必要です。これらを加味した事業計画は、国内、市内、区内の文化動向を客観的に俯瞰できる専門性が必要です。

#### ●使命4「幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける」(つなげる)についての理解

東日本大震災をきっかけに公立文化施設が担うべきとされた文化的コモンズの形成は、これからの社会、横浜市、都筑区にとっても、地域課題の解決に向かわせる重要な視点です。

既存のネットワークを維持し、新しいネットワークとの接点を作るコーディネート力が必要となります。

●使命5「持続可能性を高める施設運営を行う」（いかす）についての理解

区民に開かれた施設運営には日々の設備点検・清掃等、環境に配慮した清潔で安全・安心な施設管理が必要です。加えて、長期的な修繕計画の作成、各種災害に備えたマニュアルの整備には数多くの管理経験による視野の広さが必要となります。

●使命6「大きな社会情勢の変化に適応して、施設運営を継続する」（つづける）についての理解

自然災害や感染症流行等の社会混乱の中で施設の安心安全な運営すること、電気代の高騰やインフレーションへの対応については、指定管理者が培ってきた運営実績によるノウハウが活きてきます。予測できない変化に対応できる柔軟性が必要となります。

●使命0「とどける」施設や都筑区の情報を広域に発信する

当団体は市内随一の新聞・テレビなどのメディア企業が構成企業に含まれており、広報のスペシャリストという自負がございます。私たちのもつ情報発信力とネットワークを都筑区のために活かしたいと強く望んでおります。そこで私たちは独自にもう一つの使命を設定しました。使命1～6で果たす基礎として、施設や都筑区の情報に広域に発信します。これにより、都筑区のブランディングに貢献すると共に、区民の更なる愛着形成、周辺区や広域の都筑区のイメージアップに努めます。

## 2 令和7度の文化事業の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

### (1) 趣旨

区内で最も優れた機能を有する諸室を、それぞれの文化活動の創造性を最大限に発揮できるように貸出ます。さらに、センターが区民に開かれた「新しい広場」とであると認識し、多様な活動、また、目的をもたずとも来館しても居場所のあるような場の提供と支援を積極的に行います。他施設の運営で培った施設利用者サービス力を踏まえ、公正・公平かつ、利用者・来場者の生の声に耳を傾けながら「お客様目線」でのきめ細かく親身な接遇をいたします。それにより当施設が市民の誇れる文化活動の拠点となることで、使命1の達成を目指します。

### (2) 重点項目

#### ① 誰もが気軽に利用・来館出来るための措置

ア) 横浜市市民利用施設予約システムオンラインキャッシュレス導入に伴い、施設窓口によるキャッシュレスサービス開始

イ) 来館者のためのバリアフリー措置

#### ② 文化活動促進に向けたサービス

ア) ステージコンシェルジュの配置

イ) ホームページの充実

ウ) 各種オンラインサービスの導入

#### ③ 利用者の声を反映させた運営

ア) 「お客様の声ヒアリングシート」による記録の共有

イ) 利用者会議の実施

ウ) 利用者満足度の向上につながるアンケートによるニーズ把握

#### ④ その他

ア) 広報活動・情報提供・利用促進への取り組み

イ) 情報コーナーの設置

ウ) 余剰スペースの活用

### (3) 数値目標等 ((2)の各項目について、数値目標等を設定してください。)

#### ① 窓口キャッシュレスサービス第1四半期導入

バリアフリー対応設備に関する苦情要望ゼロ件を目指す

#### ② コンシェルジュ対応満足度 90%以上 (アンケート評価)

月間ページ閲覧数 2,000 件以上

最新情報更新頻度：週1回以上

#### ③ 利用者満足度の向上につながるアンケート 年2回実施・回収率 30%～60%以上

満足度評価「満足・やや満足」90%以上

		2 年目	5 年目
利用者アンケート回収率	ホール	60%	70%
	ギャラリー	60%	70%
	リハーサル室	50%	60%
	練習室①②	30%	40%
	会議室①②	30%	40%
利用者会議の実施		年 2 回	

利用者アンケートは、記入しやすいような設問に設定し記述式及び QR コードを利用し回収率を上げる工夫を行う。

利用者会議は、利用者を対象とした会議体を設置し、施設運営や事業推進における意見交換を行います。

- ④ LINE お友達登録数 年間 + 500 人  
 広報配信回数（SNS・LINE）月 3 回以上

### 3 令和6年度の施設運営の方針 (重点的に取り組む事項や数値目標等)

#### (1) 趣旨

ボッシュホールは、地域住民にとって文化・芸術・社会交流の中心となる施設であり、その運営は地域の活性化や住民の生活の質向上を目指すものでなければならないと考えます。

ボッシュホールは、地域の文化的資源を最大限に活用し、地域住民にとってアクセスしやすい、開かれた場を提供します。文化芸術活動の促進、地域コミュニティの形成、そして地域住民の多様なニーズに応えることを最優先にし、施設運営を行っていきます。

#### (2) 重点項目

##### ●地域文化の振興

ボッシュホールは、地域住民が自らの文化的・創造的活動を行う場としての役割を果たします。音楽、演劇、ダンス、アート展示など、多彩な文化事業を通じて地域文化の発展を支援し、地域住民の創造性を高めます。

##### ●区民の参加と交流の促進

ボッシュホールは、地域の人々が参加し、交流し、共に成長する場所です。多様なイベントやワークショップを通じて、地域住民同士のつながりを深め、地域社会全体の活性化を図ります。

##### ●教育・学びの機会の提供

ボッシュホールは、地域住民に対してさまざまな学びの機会を提供する場所でもあります。教育活動や講座を開設し、地域の教育的ニーズに応え、知識や技能を広める場として機能します。

##### ●持続可能な運営と環境への配慮

持続可能な社会を実現するため、施設運営は環境への配慮を欠かさず、エネルギー効率や資源のリサイクルを重視した運営を行います。

##### ●都筑区民のニーズに応じた柔軟な運営

ボッシュホールは、地域住民の多様なニーズに応じて柔軟に運営されるべきと考えます。区民の声を反映させた運営を行い、誰もが利用しやすい施設を目指します。

#### (3) 数値目標等

横浜市13番目に竣工したボッシュホールにおける初年度の数値目標は、先に挙げた重点項目以外に、施設が安定的に運営され、地域社会への影響を確実に与えられるよう、段階的に達成可能なものを設定することが重要と考えます。初年度となる令和7年度は、ボッシュホールの認知度向上や利用者の獲得を重視しつつ、運営基盤の確立を目指します。

#### 1. 文化・地域イベントの開催

ボッシュホールの多様な活用方法を示すため、自主事業の種類を多様化することで、幅広い層にアプローチし地域住民の興味を引き、施設利用促進に繋がります。

## 2. 地域住民の参加者数

ボッシュホールが地域住民の文化芸術活動に貢献し、地域とのつながりを強化することを目的とするため、参加型イベント等を多く開催し、地域住民の参加を促進します

## 3. 顧客満足度の向上

利用者のフィードバックを重視し、施設のサービスや設備の質を改善するために、顧客満足度の向上を目指します。アンケートを通じて課題を把握し、迅速に改善策を実行します。

SNS でのフォロワー数と認知度向上

SNS を活用した広報活動で、施設の認知度を高め、利用者を獲得します。また SNS での活動を通じて、ボッシュホールのイベント情報や魅力を地域の人々に届け、集客向上を促進します。

## 4. 施設利用者数の獲得

ボッシュホールの認知度を高めるために、地域住民や近隣エリアからの利用者をターゲットにした広報活動を行い、年間目標として一定の利用者数を確保します。

## 5. 施設利用率

ボッシュホールに設置される室場（ホール、ギャラリー、リハーサル室、練習室、会議室）が無駄なく活用されるよう、初年度の施設利用率を 70%以上の稼働率を目指します。

【2025 年（令和 7 年）度から 5 年間の目標稼働率】

稼働率	2025 年度 （令和 7 年度）	2026 年度 （令和 8 年度）	2027 年度 （令和 9 年度）	2028 年度 （令和 10 年度）	2029 年度 （令和 11 年度）
ホール	86.0%	87.0%	88.0%	89.0%	90.0%
ギャラリー	66.0%	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%
リハーサル室	86.0%	87.0%	88.0%	89.0%	90.0%
会議室 1	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%
会議室 2	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%
練習室 1	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%
練習室 2	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%
総来場者数		100,000 人			120,000 人

## 4 令和7年度の施設管理の方針

### (重点的に取り組む事項や数値目標等)

#### (1) 趣旨

ボッシュホールは地域住民の文化・芸術活動やコミュニティ形成の拠点として重要な役割を担っています。本年度は、来館者の安全・安心を最優先に、設備の適正な維持管理とサービスの質の向上を目指し、持続可能な施設運営体制の強化を図ります。また、利用者満足度と施設稼働率を通じて、より開かれた公共空間としての価値を高めていきます。また法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行います。

#### (2) 重点項目

- Bosch Fusion ビルの一体管理による効果的な維持管理
- Bosch Fusion ビル全体の円滑なリレーションを図り、安全・快適な施設環境を維持し、未来につながる安定的な施設運営を実施します。
- ボッシュ本社棟との連携体制による業務品質向上・経費削減
- 有事の際に迅速な対応を実現するバックアップ体制
- 汚れ度合に応じたゾーニングによる清掃作業の効率的な実施
- 清掃インスペクションによる徹底した品質管理
- 予防保全を意識した設備総合巡視点検の実施
- モニタリングによる業務水準の維持・改善提案
- 修繕リストを作成し適切な修繕予算管理をサポート
- 適切な再委託先選定による効率的な業務実施

#### (3) 数値目標等

- ① Bosch Fusion ビルの一体管理による効果的な維持管理  
管理実施項目の達成率：100%（年次・月次の法定点検および自主点検の完了）
- ② Bosch Fusion ビル全体のリレーション強化と安定運営  
全体連携会議の開催回数：月1回（年間12回）  
関係者満足度（年次アンケート）：85%以上  
重大トラブル発生件数：ゼロを目標
- ③ ボッシュ本社棟との連携による業務品質向上・経費削減  
本社棟との業務連携施策実施数：年4件以上（共同点検・共同訓練など）
- ④ 有事の際の迅速な対応体制の構築  
緊急対応訓練の実施回数：年2回以上（地震・火災・停電想定）  
初動対応時間（平均）：15分以内（訓練時の初期行動記録に基づく）  
対応マニュアルの見直し頻度：年1回以上
- ⑤ ゾーニングによる清掃作業の効率化  
ゾーン別清掃計画の更新回数：年2回

清掃頻度の見直し提案数：年 3 件以上

⑥ 清掃インスペクションによる品質管理

月次インスペクション実施率：100%

⑦ 設備の予防保全による総合巡視点検

巡視点検実施回数：月 1 回以上（年間 12 回）

⑧ モニタリングによる業務水準の維持と改善

モニタリング報告書作成回数：四半期ごと（年 4 回）

改善対応実施率：90%以上（提案から 6 か月以内に実施）

⑨ 修繕リストと予算管理のサポート

修繕案件登録率：100%（検知された全案件をリスト化）

⑩ 再委託先の適切選定と業務効率化

定期評価実施率（委託先）：100%（年 1 回以上）

契約更新時の競争性確保（見積取得）：100%

## 5 令和7度の文化事業に関する計画について

### (重点的に取り組む事項や数値目標等)

#### (1) 趣旨

ボッシュホールは、地域社会における文化的な拠点として、住民の心豊かな生活を支えるための重要な役割を担っていると考えます。文化事業は、地域住民の多様な文化的ニーズに応え、地域の文化を発展させることを目的としています。私たちのボッシュホールでは、音楽、舞台芸術、映画、ワークショップ、地域文化の発表など、さまざまな形態の文化活動を提供し、都筑区民一人ひとりが文化に触れる機会を広げます。

またこれらの事業を通じて、地域住民の創造性や感受性を育み、心の豊かさを育てるとともに、地域の多様性を尊重した文化の発信を行います。地域文化の発展に貢献することで、地域コミュニティの結束を強め、地域（都筑区）全体の活性化を促進します。

ボッシュホールの文化事業は、地域住民が主体的に参加し、地域に根差した文化交流の場としての機能を果たすことを目指します。これにより、地域の文化的資産を継承し、次世代に伝えるとともに、地域外からも注目される文化拠点としての役割を果たしていきます。

#### (2) 重点項目（数値目標）

##### ①ホール主催・共催事業

ア) ボッシュホール会館記念コンサート … 年1回実施

11月26日（水）「シュトゥットガルト室内楽団コンサート」

イ) クラシックシリーズ … 年2回程度実施

6月26日（木）「午後のひとときコンサート vol.1」

11月3日（月）「ボッシュホールピアノ選定者 永田美穂ピアノコンサート」

12月「午後のひとときコンサート Vol.3」

ウ) 親子向けコンサート … 年1回実施

8月10日（日）「つづきジュニアストリングスコンサート」

エ) ドイツアーツシリーズ … 年1回実施

10月5日（日）「ドイツ由来のアーティストによるジャズコンサート（仮称）」

オ) ジャパンアーツシリーズ … 年2回程度実施

5月25日（日）「小鼓の世界へようこそ」

9月「午後のひとときコンサート Vol.2」

3月「午後のひとときコンサート Vol.4」

カ) ソーシャルインクルージョン避難訓練コンサート … 年1回実施

調整中

キ) クリスマスシアター

調整中

ク) 劇団かし座との協働事業 … 年2回実施

9月6日(土)「ハンド・シャドウズ・アニマーレ」

他1件計画中

ケ) SDGs ドキュメンタリー映画上映会 … 年11回

5月8日(木)「0円キッチン」

他10件計画中

コ) ホールでピアノ … 年12回程度

## ②リハーサル室自主・共催事業

ア) 若手アーティストコンサートシリーズ … 年2回実施

4月27日(日)「高橋龍之介サクソフォンコンサート」

他1回計画中

イ) ベイビーシアターワークショップ … 年4回実施予定

6月20日(金) ボッシュ ホール ベイビーシアターワークショップ①「ちらかし大作戦」

8月15日(金) ボッシュ ホール ベイビーシアターワークショップ②「影絵ワンダーランド」

他2回計画中

ウ) 影絵ワークショップ … 年2回実施予定

計画中

## ③その他施設自主事業

ア) 生涯学習講座事業 … 年4回実施

5月3日(土)「花鏡制作ワークショップ」

他4回計画中

イ) アートマネジメント講座事業 … 年2回実施

計画中

## ④暮らしの創造都市フェスティバル(ボッシュ ホール オープンデー) … 年1回

9月6日(土)「ボッシュ ホール SHADOW THEATRE FESTIVAL」

## ⑤共催事業

4月26日(土)「ドイツへの音楽小旅行」(主催:アンサンブル of トウキョウ)

6月15日(日)「第49回ピアティナ・ピアノコンペティション」(主催:全日本ピアノ指導者協会)

7月12日(土)「シャボン玉の魔術師ミケーレ・カファッジ」(主催:NP0 法人横浜こどものひろば)

9月23日(火)「デフリンピック関連イベント」(主催:一般財団法人全日本ろうあ連盟)

10月31日(金)「eFreydut ジャズコンサート」(主催:Tommy' s By The Park)

11月9日(日)「かながわ音楽コンクール ジュエルコンサート」(主催:かながわ音楽コンクール)

11月16日(日)「かながわ音楽コンクール 声楽部門予選」(主催:神奈川音楽コンクール)

12月4日(木)「日本カー・オブ・ザ・イヤー最終選考会」

(主催:日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会)

12月14日(日)「MY つづき一番コンテスト」(主催:つづき MY プラザ)

12月20日(土)「かながわ音楽コンクール 声楽部門本線」(主催:神奈川音楽コンクール)

12月27日~28日(土~日)「JHC DANCE CONTEST2025 全国大会」(主催:日本ダンス協会)

その他、調整中

## ⑥アウトリーチ事業

ア) ボッシュ ホール オリジナルアウトリーチ … 年4回程度実施  
計画中

イ) 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業 … 年3回程度実施  
計画中

## 6 令和7度の施設運営に関する計画について

(稼働率等貸し館の目標、開館時間、休館日、人員配置、勤務体制、研修計画、広報計画等)

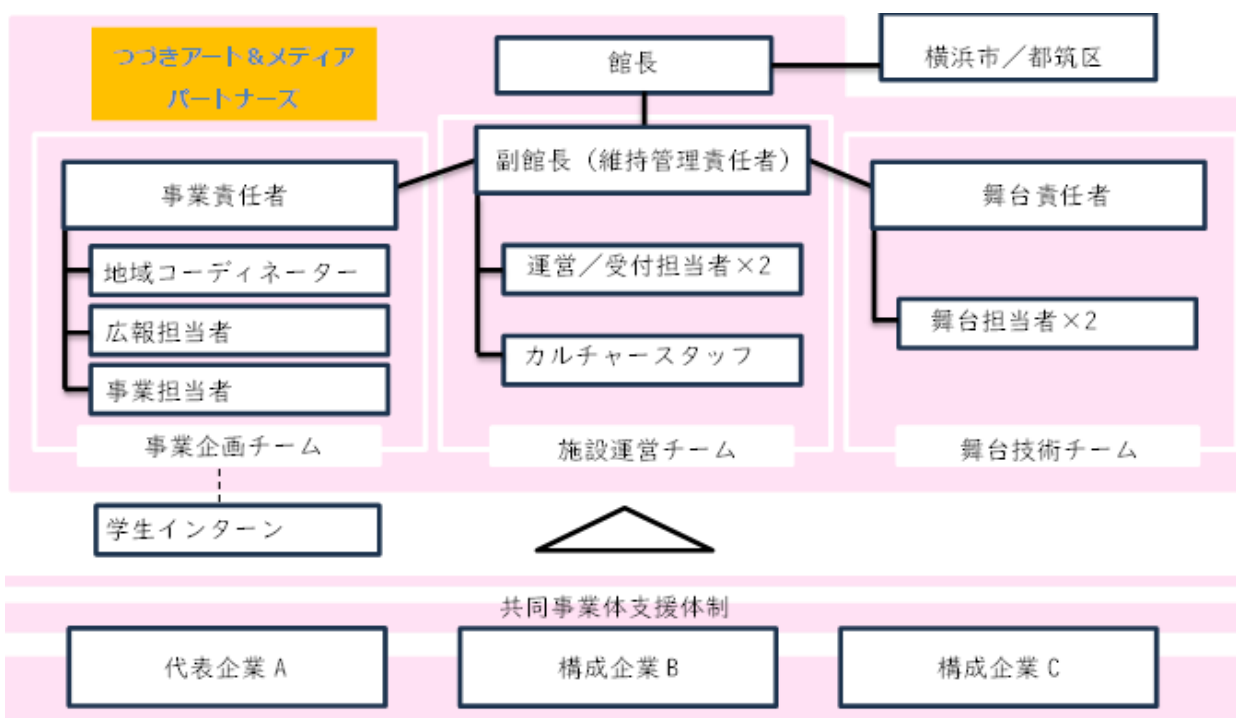
### (1) 趣旨

当団体を構成する企業はそれぞれが市内文化施設の運営経験を有しています。そこで培った施設運営のノウハウ、専門的な知識や経験を有する豊富な人材を活用し、安心・安全かつ効率的なスタッフ職員を配置し運営します

### (2) 具体的取組内容（実施事項）

運営組織の構造について

#### ① 組織構造：つづきアート&メディアパートナーズ運営組織図



#### ア) 専門性の高い職員の配置

館長1名を中心に、各業務に精通した職員を配置。無理のない勤務体系で施設の運営に当たります。

#### イ) 地域人材の積極的雇用

職員やカルチャースタッフは地域人材を積極的に雇用し、地域特性を熟知した事業企画や利用者、来場者の相談対応をします。

#### ウ) 職員のマルチジョブ化

効率的な運営体制を構築するために、配置する職員が担う日常業務を縦割り化せずに補完し合えるよう職員をマルチジョブ化し、常勤職員の事故、傷病といった緊急時にも業務に支障をきたさない運営を行います。

#### エ) 大学生インターンの配置

事業を企画するうえで大学生のインターンを受け入れることで文化施設の職員としてキャリア形成を支援するとともに、戦略的に地域の中に大学生を巻き込むきっかけを作ります。

#### オ) 構成企業のバックアップ

組織運営にあたっては構成企業各社のノウハウやネットワークを万全に活かし、施設運営をバックアップします。

## ② 組織内情報共有の基本的な考え方

円滑かつ効率的な組織運営、またチームワーク醸成のため、各種会議を定期的を実施し円滑なコミュニケーションを促します。情報共有にはビジネスチャットツールの slack やスケジュール共有ツールの Google カレンダーなどのグループウェアや、サーバー管理による電子日報など、デジタル技術を活用して、貸館業務やチケット取扱などの適切な引継を行い、効率的かつ事務処理ミスが起きない業務を行います。

会議名	出席者	内容	実施回数
Bosch Fusion ビル 連携会議	館長、副館長、ボッシュ株 式会社担当者、都筑区担当 者	都筑区の一体的なにぎわい作りに向け た会議	随時
朝礼・昼礼	当日勤務者	引継連絡、施設利用確認、注意事項	毎日
維持管理会議	維持管理責任者、 ボッシュ本社棟管理者、構 成企業 C 担当	建物維持管理の情報共有	月 1 回
責任者会議	各責任者	業務改善の PDCA の実施	月 1 回
運営職員会議	全職員	職員間の情報共有	月 1 回
事業企画会議	館長、副館長、 事業責任者	自主事業の企画立案、ミーティング	随時
BoschFusion project 調整会議	事業責任者、ボッシュ株式 会社事業担当者	協働事業の企画立案、 共用空地の利用調整	月 1 回
コンソーシアム会議	共同事業体各社	運営状況の共有、 構成団体各社の協力要請	隔月
利用者会議	館長、事業責任者、 区内文化団体	事業推進における意見交換	年 2 回
モニタリング会議	都筑区及び担当責任者	運営状況の報告、優先予約の調整	月 1 回
北部 4 区連携会議	各区民文化センターの事 業担当者・地域コーディネ ーター、区内施設担当者	各区の文化活動や実施事業に関する情 報共有	月 1 回

### ③ 勤務体制

職員は「早番」「遅番」の2交代制と、受付スタッフ「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

役職	勤務時間	人数	ポスト	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
館長	A勤務 8:45～16:45 B勤務 14:00～22:00	1名	7P															
副館長（維持管理責任者）		1名																
事業責任者		1名																
地域コーディネーター		1名																
広報担当者		1名																
事業担当者		1名																
運営受付担当者		2名																
舞台責任者		1名	3P															
舞台スタッフ		2名																
カルチャー スタッフ	①8:45～13:00 ②12:45～17:00 ③16:45～21:00	9名	1P～2P															
			1P～2P															
			1P～2P															

### ④ 休館日設定

- ア) 他区の区民文化センターの休館日と重ならないよう配慮して設定します。
- イ) 休館日は全日施設点検を実施しますが点検作業を妨げない範囲で職員研修や全体ミーティング、災訓練等を実施します。
- ウ) 決定された休館日については早期に1年分を公式ホームページ上で公開し、実施月の1カ月前ごとにホームページ、イベントカレンダー、窓口掲示、施設内掲示板、SNSなどを通じて、周知徹底します

休 館 日	毎月第2火曜日（祝日の場合は、翌日を休館日とします）
	年 末 年 始（12月29日～12月31日・1月1日～1月3日）

### ④ 非常時の連絡体制

利用者の人身事故や設備トラブル等による事故発生時は、施設責任者（館長もしくは副館長）や構成団体の担当部署が下図の対応フローに則り適切な対応に当たります。

緊急事態発生時において、当施設に配置されているスタッフ以上の追加要員が必要であり、また発生した事象が区民文化センター棟に限定される場合は、隣接するボッシュ本社棟配置予定の構成企業スタッフを一時的に派遣し、連携して迅速な事態の鎮静化を図ります。

### ⑤ 研修

全職員が同等の利用者対応ができるよう、基本的な接遇・マナーやコンプライアンス研修、個人情報保護研修等を実施します。研修は区内の専門外部講師に依頼するだけでなく、職員が講師を担うことで個々の理解力の向上に努めます。

【職員・カルチャースタッフ対象】

研修・テーマ	概要	開催回数
基本業務研修	採用時に、当施設で行う受付業務や、市民利用施設予約システムの使用方法に関する研修を行う。	0JT
都筑区に関する知識研修	都筑区内の施設関係者や都筑区役所担当職員を招き、都筑区の現状や地域における課題などについて学ぶ。	随時
接遇・マナー研修	身だしなみや言葉遣い、利用者対応のマナーやホスピタリティ等について実践的に学ぶ。	年1回
人権研修	人権の重要性、それぞれの多様性（ダイバーシティ）について、ビデオ視聴等を通じて考える。	年1回
傾聴研修	市民・文化団体等からの相談に耳を傾け、相談者に対する適切な対応を習得する。研修は区内団体のNPO法人アーモンドコミュニティネットワークと連携予定。	年1回
ソーシャルインクルージョン研修	ソーシャルインクルージョン・社会包摂に関する考えかたを学び、障がい者や外国人等の来館者に対する適切なサポート方法を学ぶ。	年1回
コンプライアンス研修	指定管理者として必要な法令遵守を核としたコンプライアンス意識の重要性について考える。	年1回
個人情報保護研修	個人情報保護法の基本知識や個人情報保護のための具体的な取り組み、注意ポイントについて学ぶ。	年1回
危機管理研修	リスクマネジメントの重要性を理解するとともに、地震等、大規模自然災害や感染症の流行を想定し、本社応援体制を含めた緊急時対応の周知を行う。	年1回
防災訓練・消火訓練	自衛消防隊の組織確認、消火訓練、消防設備等の位置確認、消防計画及び災害時行動計画の確認を行う。訓練にあたってはボッシュ本社棟管理者と協力して実施する。また、実施時は避難訓練コンサート等事業と連動した実施を検討する。	年2回
普通救急救命講習	けが人や急病人の対応に備え、応急処置、救命措置、AED使用方法について学ぶ。	年1回

【専門職（技術者）対象】

専門業務に携わる職員のスキルアップを目的とした技術研修を実施します。

研修・テーマ	概要	開催回数
アートマネジメント研修	アートマネジメントに関する理論と知識を学ぶ。	年1回
ファンドレイジング研修	資金調達実現のため知識を獲得する。	随時
舞台技術研修	舞台・音響・照明に関する技術者資格の取得研修を奨励。	随時

文化政策研修	横浜市の文化芸術創造都市施策の他、文化的コモンズ、社会包摂といった劇場・音楽堂に関わる上で必要な情報を学ぶ。	随時
横浜市政策研修	横浜市の政策の内、情報公開、人権、環境、市内中小企業優先発注を始め、子育て、男女共同参画、DX など、最新の市の重要施策を学び、施設運営の参考とする。	随時

## 7 令和7度の施設管理に関する計画について

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

### (1) 趣旨

ボッシュホールは、地域住民にとって文化芸術、社会的な交流の場となる重要な施設です。そのため、施設の円滑な運営と長期的な維持管理は、地域社会の文化的活力を支える基盤として欠かせません。施設管理計画は、ボッシュホールの施設運営を効率的かつ持続可能なものにするための指針を提供し、施設の機能を最大限に活かすことを目的とします。

本計画では、施設の維持管理・運営に必要な具体的な方針や手順を定め、利用者の安全・快適さを確保し、この先の施設の老朽化対策や設備の更新、さらには環境への配慮を含めた持続可能な管理を目指します。さらに、施設の利用促進や地域住民との連携強化にも重点を置き、ボッシュホールが地域文化の発展に貢献できるよう努めます。

### (2) 具体的取組内容（実施事項）

施設管理計画における具体的な取り組みは、施設の効率的な運営、利用者の安全・快適性の確保、維持管理の合理化、さらには地域社会との連携強化を目指した内容が求められます。以下に具体的な取組を行います。

#### 1. 施設の維持・修繕計画

定期点検と修繕：年次点検や設備の定期的なチェックをJV構成企業と連携し実施、新規ホールにおける修繕計画を立てる。特に、音響・照明設備、舞台設備、空調、セキュリティシステムの管理を強化。

#### 2. 安全対策の強化

防災計画の見直し：地震や火災等の緊急事態に備えて、避難経路の確認や非常口の整備、消火器等の防災設備の定期的なチェックを行う。

セキュリティ強化：施設のセキュリティシステム（監視カメラ、入退室管理など）を活用し、利用者や職員の安全を確保する。

#### 3. 施設利用者へのサービス向上

利用者ニーズの調査：定期的に施設利用者へのアンケート、自主事業来館者へアンケートを行いフィードバック収集し、利用者来館者の満足度を把握する。改善点を反映させたサービスの提供。

#### 4. 地域との連携強化

地域文化活動の支援：地域団体や学校、地域住民との連携を強化し、地域文化活動やイベントの開催をサポート。地域のアーティストや団体に活動の場を提供する。

#### 5. 人材育成とスタッフ、職員のモチベーション向上

定期的な研修：施設スタッフ職員のサービス向上や施設運営スキルを高めるため、定期的な研修を

実施。特に、接客スキルや災害対応能力、設備の取り扱いに関する研修を重視します。

## 6. 施設利用促進と集客活動

マーケティング活動：SNS や新聞、ウェブサイト、テレビ電波を活用し、ボッシュホールのイベントやサービスを積極的に広報。地域住民への情報提供を強化。

イベントの多様化：音楽会、演劇、映画上映、ワークショップなど、さまざまなジャンルのイベントを定期的に企画し、幅広い層の利用者をターゲットにする。

## 7. 予算管理と財政計画

コスト削減策の検討：無駄な支出を削減し、効率的な予算運営を行うために、施設の運営コストやエネルギー消費を定期的に見直す。

財源の確保：指定管理用に頼らない施策として、地元企業や団体との協賛を募り、施設の維持や運営に必要な財源を確保。

## 8 その他の計画について

(危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制、個人情報保護体制、ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い、その他の法令順守体制、自己評価・実績評価等)

### (1) 趣旨

新しく開館するボッシュホールにおける各種管理体制は、ボッシュホールが地域住民に安全で信頼される場となるために非常に重要と考えます。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の5類以降に伴い、「横浜市文化施設における感染症拡大防止ガイドライン」も廃止されました。しかし老若男女問わず、様々な方が来館する区民文化センターでは、利用される市民区民と対面サービスを提供することが少なくありません。今後も可能な限り感染症リスクを下げるとともに、多くの市民区民の文化活動の基盤として、安心安全な施設となるよう運営を行います。

以下に、危機管理体制、防犯・防災体制、緊急時体制、個人情報保護体制、苦情及び情報公開の取り扱い、法令順守体制、そして自己評価・実績評価の指針を記載します。

### (2) 具体的取組内容（実施事項）

#### 1. 危機管理体制

施設の運営における安全性を確保し、予期しない危機的状況（自然災害、テロ行為、暴動、事故など）への対応能力を高める。

○危機管理マニュアルの作成：さまざまな危機的状況に対応するための詳細なマニュアルを作成します。具体的には、火災、地震、テロ、パニック状況などへの対応手順を明確化。

○定期的な訓練・演習の実施：危機管理担当者および全スタッフを対象に、年に数回の避難訓練や緊急時対応演習を実施。

○情報伝達システムの確立：危機的状況が発生した場合、迅速に全スタッフや利用者へ情報を伝達できるシステム（館内放送、LINE、スラックなど）を活用。

#### 2. 防犯・防災体制

施設内外の安全を確保し、利用者やスタッフの生命・財産を守るため、予防策を講じ、万が一の際に適切に対応する。

○防犯カメラと監視システム：施設内外に防犯カメラを設置し、24時間監視体制を維持。

○防災設備の整備：消火器、消火栓、スプリンクラー、AED、避難誘導サイン、非常用電源等の防災設備を常に整備点検を行う。

○防災計画の作成：地震、火災、津波、台風、洪水などの災害に備えた防災計画を作成し、スタッフ全員に周知徹底。

○避難訓練と防災教育：定期的に避難訓練を行い、スタッフおよび施設利用者（地域住民向け）に防災意識を啓発。

#### 3. 緊急時体制

万が一の緊急事態に対して、即座に適切な対応ができる体制を整備し、混乱を最小限に抑える。

○緊急連絡網の整備： 緊急時にはスタッフ全員および必要な関係機関（都筑警察、都筑消防、医療機関など）と迅速に連絡を取るため、連絡網を整備し、定期的に更新。

○緊急時対応責任者の指定： 館長および副館長、各部署の責任者を緊急時対応の担当者として指定し、指揮命令系統を確立。

○緊急時の避難経路の周知： 利用者には常に避難経路を示し、緊急時に迅速に避難できるように準備を整える。

#### 4. 個人情報保護体制

施設利用者の個人情報を適切に管理し、情報漏洩や不正アクセスを防ぐ。

○個人情報管理方針の策定： 個人情報の取り扱いに関する方針を明文化し、全スタッフに周知徹底。

○個人情報のアクセス制限： 利用者の個人情報へのアクセスは、職務上必要なスタッフに限定し、適切な認証・権限管理を実施。

○セキュリティ対策の強化： 電子データの管理においては暗号化やパスワード管理などのセキュリティ対策を講じ、書類管理では物理的なセキュリティを強化。

○個人情報に関する研修： 定期的に個人情報保護に関する研修を実施し、スタッフの意識を高める。

#### 5. ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い

ボッシュホール運営に関する利用者や地域住民からの意見・苦情を適切に受け止め、改善に繋げる。

○意見箱の設置： 施設内に意見箱を設置し、利用者が匿名で意見や苦情を提出できるようにする。

○専用窓口の設置： 公式ウェブサイトや施設内で、意見や苦情を受け付ける専用窓口を設置。

○迅速な対応とフィードバック： 提出された意見や苦情については、速やかに担当部署が対応し、その結果を利用者にフィードバック。

#### 6. その他の法令順守体制

施設運営に関連する法律・規則を遵守し、社会的責任を果たす。

○定期的な法令研修： スタッフ全員に対して、定期的に法令に関する研修を実施し、運営における法的リスクを減らす。

#### 7. 自己評価・実績評価の指針

施設運営の成果を定期的に評価し、改善点を明確にし、次年度以降の運営に反映させる。

## 9 収支について

(収入確保、経費節減努力、費用対効果向上等(最大限の入場料収入の確保、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得、利用者満足度・施設利用率の向上等))

### (1) 趣旨

初年度の新規ホールにおける収支を最大化するためには、収入確保、経費節減、費用対効果の向上に向けた具体的な施策を立案することが重要と考えます。

### (2) 具体的取組内容

#### 1. 収入確保

##### ① 収入についての基本的な考え方

施設運営をするにあたって指定管理料に依存しない収入構造構築するため、指定管理料を基礎としながら、利用料収入、自主事業収入の向上に向けて絶え間なく努め、指定管理料に依存しない自律的で持続可能な経営を行い、その収益を地域に還元することで文化を育む土壌を整備します。

##### ② 収入増に向けた三本柱

当指定管理者が取り組む収入増について、メディア企業で構成される団体としての広報力を活かした新規顧客の獲得、施設運営経験を活かしたサービスによるリピーターの獲得、助成金・協賛金などの外部資金の獲得を三本柱とした施策の取り組みます。

##### ③ 圧倒的な広報力

利用料収入・自主事業収入の向上に向けては、多くの人に「都筑区民文化センターを認知していただく」という視点が欠かせません。当団体は市内随一の新聞・テレビなどのメディア企業が構成企業に含まれており、広報のスペシャリストという自負がございます。また、インターネットを使用した最新の広報や、メディア企業間や地域と培ってきた人と人とのネットワークの有効活用した広報など、多角的な情報発信を行うことで、施設や事業の認知度の向上に努め、来場者・利用者の獲得を実現いたします。

##### ④ 経験に裏打ちされたサービス力

当指定管理者では他館運営経験によるノウハウを最大限に活用し、サービスの向上、魅力的な事業の企画、快適な施設利用環境の推進といった、多角的な面からリピーターの獲得に努めます。

##### ア) ステージコンシェルジュ

舞台・照明・音響のあらゆるご相談に限らず、お花や看板の手配等、催物のサポート体制を構築する。

##### ⑤ 積極的な資金獲得

##### ア) 補助金・助成金・協賛金獲得

##### ⑥ 経費削減に向けた取り組み

横浜市の施設として一定のサービスレベルを保ち、魅力的な事業実施や広報業務での利用者増

を図るための支出は適正に見込みながらも、無駄な経費を極力低減することを大前提とし、経費削減を積極的に取り組みます。

#### 1. 地元企業からの協賛金・広告料収入の獲得

○**地域企業との連携強化**： 地元の企業と提携し、ボッシュホール発刊紙（パンフレット、公式ウェブサイトや SNS）への広告スペースを提供やイベントや特定の公演で協賛金を獲得。

#### 2. 経費節減努力

エネルギー効率の向上

○**省エネ設備の導入**： LED 照明や省エネ空調システムなどを導入し、運営コストの削減を図る。

○**設備メンテナンスの効率化**： 定期的な点検と効率的な設備管理を行い、長期的な修繕費用や突発的な修理費用を抑える。

○**スタッフ教育と多能工化**： スタッフを複数の業務に対応できるよう教育し、無駄な人件費を削減する。

#### 3. 費用対効果の向上

利用者満足度の向上

○**イベントの質の向上**： 顧客満足度を高めるために、イベントの企画内容やアーティストの質にこだわり、再来場を促進する。顧客アンケートを活用してフィードバックを収集し、改善点を明確にする。

○**サービスの向上**： スタッフの接客態度の向上や、施設内の清潔さ、音響・照明設備の品質を高めることによって、利用者の体験を改善する。

○**他施設との提携**： 近隣のホテル、飲食店、観光地などと連携し、共同パッケージを提供することで、相互に集客効果を高め、ホールの利用者数を増加させる。

○**多目的利用促進**： 演劇や音楽イベント以外にも、会議、展示会、ワークショップ等、多目的にホールを活用することで、利用頻度を増やし、安定した収入源を確保する。

○**ターゲット層の絞り込みと集客戦略**： 地域の特性やホールの特徴に応じてターゲット層を明確化し、特定の顧客層（学生、ファミリー、高齢者層等）をターゲットにしたイベントを企画し新規来館者を呼び込む。

○**季節・イベントごとの価格戦略**： 特別イベントやシーズンイベント、人気の高いアーティストの公演に合わせて、入場料の価格を調整し、需要のピークを狙って収益を最大化する。

○**オンラインチケット販売と早期割引制度**： 事前にオンラインでのチケット販売を促進し、早期割引やファミリー割引などを導入して事前の収入を確保。

#### 4. サービス向上・顧客対応強化による満足度の改善

施策	内容
利用者アンケートの実施と分析	来館者に対して定期的に満足度調査を実施
受付対応の質向上	接遇マニュアルの整備、スタッフ研修の実施
館内サインの改善	わかりやすい表示、バリアフリー対応を意識した案内板の設置

#### 5. 利便性の向上によるリピーターの確保

施策	内容
施設予約のオンライン化・リアルタイム対応	空き状況の即時検索
施設利用ガイドの整備	準備・撤収、音響・照明の基本操作を事前に理解できるツール提供
コミュニティスペース・情報コーナーの快適化	Free Wi-Fi 整備、休憩スペースの改善、イベント情報の併設

No	事業名	開催要旨	実施時期 会場	事業 区分	人数	収入		支出												収支差額
					(件数)	チケット平均 (円)	収入合計 (円)	舞台費	舞台費 調律費	出演料	謝金 ※バイト・講師 等	旅費・通信費	広報宣伝費※ 印刷製本費	手数料	音楽費 著作権使用料 等	雑費 飲食費等	合計			
1	鑑賞事業① クラシックシリーズ	良質のコンサートの鑑賞機会を提供する。 永田美穂、中水健二コンサート	11月3日	鑑賞	270	4,000	1,080,000	0	33,000	660,000	55,000	5,000	166,000	108,000	10,000	10,000	1,047,000	33,000		
			ホール																	
2	鑑賞事業② ドイツアーツシリーズ	ドイツに所属のあるアーティストの公演 横浜ジャズプロムナードと連携したジャズコンサート	10月5日	鑑賞	270	4,000	1,080,000	0	33,000	880,000	55,000	5,000	166,000	108,000	10,000	10,000	1,267,000	-187,000		
			ホール																	
3	鑑賞事業④・育成事業 親子向けコンサート	声を出しても大丈夫な親子コンサート つづきジュニアストリングス	8月10日	鑑賞 育成 体験	270	1,000	270,000	0	0	220,000	55,000	5,000	88,000	27,000	30,000	10,000	435,000	-165,000		
			ホール																	
4	鑑賞事業④ ポッシェ間諜記念コンサート	ポッシェ社と協働したコンサート シュトゥットガルト室内楽団	11月	鑑賞	270	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	鑑賞事業⑤ クラシックシリーズ	安価で気軽に入れるコンサート 午後のひとときコンサート①③ 年4回	6月26日	鑑賞	250	1,000	250,000	0	33,000	88,000	0	5,000	66,000	25,000	30,000	10,000	257,000	-7,000		
			ホール																	
6	鑑賞事業⑥ ジャズアーツシリーズ	安価で気軽に入れるコンサート 午後のひとときコンサート② 年4回	9月	鑑賞	250	1,000	250,000	0	33,000	88,000	0	5,000	66,000	25,000	30,000	10,000	257,000	-7,000		
			ホール																	
7	鑑賞事業 音楽⑦ クラシックシリーズ	安価で気軽に入れるコンサート 午後のひとときコンサート③ 年4回	12月	鑑賞	250	1,000	250,000	0	33,000	88,000	0	5,000	66,000	25,000	30,000	10,000	257,000	-7,000		
			ホール																	
8	鑑賞事業 音楽⑧ ジャズアーツシリーズ	安価で気軽に入れるコンサート 午後のひとときコンサート④ 年4回	3月	鑑賞	250	1,000	250,000	0	33,000	88,000	0	5,000	66,000	25,000	30,000	10,000	257,000	-7,000		
			ホール																	
9	鑑賞事業 音楽⑨ 若手アーティスト シリーズ	都筑区関連の若手アーティストのコンサート 高橋龍之介コンサート	4月	鑑賞	80	1,500	120,000	0	33,000	66,000	0	5,000	88,000	12,000	20,000	10,000	234,000	-114,000		
			リハ室																	
10	鑑賞事業 音楽⑩ 若手アーティスト シリーズ	都筑区関連の若手アーティストのコンサート ジャズアーティスト調整中	10月	鑑賞	80	1,500	120,000	0	33,000	66,000	0	5,000	88,000	12,000	20,000	10,000	234,000	-114,000		
			リハ室																	
11	鑑賞事業 和物① ジャズアーツシリーズ	日本の伝統芸能公演 千人鼓の会「小鼓の世界へようこそ」	5月	鑑賞 体験	270	2,000	540,000	0	0	600,000	55,000	5,000	88,000	54,000	0	20,000	822,000	-282,000		
			ホール																	
12	鑑賞事業 和物② ジャズアーツシリーズ	日本の伝統芸能公演 落語会調整中		鑑賞	270	4,000	1,080,000	0	0	880,000	55,000	5,000	88,000	108,000	0	20,000	1,156,000	-76,000		
			ホール																	
13	鑑賞事業 避難訓練コンサート	避難訓練を行いながら行うコンサート 日程調整中		鑑賞 体験	100	0	0	0	0	0	0	5,000	55,000	0	15,000	10,000	85,000	-85,000		
			ホール																	
14	鑑賞事業 クリスマスアター	クリスマスマーケット関連 調整中	12月	鑑賞	270	1,500	405,000	0	33,000	220,000	0	5,000	88,000	40,500	30,000	10,000	426,500	-21,500		
			ホール																	
15	鑑賞事業 演劇 かし座	かし座公演① 若手劇団員企画調整中		鑑賞	160	1,500	240,000	0	0	122,000	0	5,000	88,000	24,000	30,000	10,000	279,000	-39,000		
			リハーサル室																	
16	鑑賞事業 演劇 かし座	かし座公演② 本公演	9月6日	鑑賞	270	2,500	675,000	0	0	880,000	55,000	5,000	88,000	67,500	30,000	10,000	1,135,500	-460,500		
17	鑑賞事業 映画 SDGs	安価で見られる映画観覧会 年4回実施	ホール	鑑賞	400	1,000	400,000	0	0	0	0	20,000	132,000	32,000	132,000	0	316,000	84,000		
			5月8月11月 2月																	
18	祭典事業 暮らしの創造都市fes	かし座をメインとしたオープンデー	9月	鑑賞 体験	270	0	0	110,000	0	1,400,000	110,000	10,000	150,000	0	0	50,000	1,830,000	-1,830,000		
			全館																	
19	生涯学習講座 メディア芸術、デジタル技術に関する講座	5月「まるたまWS」12月調整中 年2回	5月、12月	講座	100	1,500	150,000	0	0	66,000	0	0	60,000	15,000	0	20,000	161,000	-11,000		
			リハ室																	
20	ドイツ文化講座 調整中	という文化を手づ講座企画 調整中 年2回		講座	50	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	0	10,000	40,000	-40,000		
			リハ室																	
21	次世代育成 ベイビシアターWS	幼児から参加できる演劇コミュニケーション 年4回	5,8,11,2月	体験	60	1,500	90,000	0	0	176,000	0	10,000	150,000	8,000	0	20,000	364,000	-274,000		
22	次世代育成 影絵WS	影絵体験ワークショップ 調整中 年2回		体験 育成	20	0	0	0	0	66,000	0	10,000	88,000	0	0	10,000	174,000	-174,000		
			ホール																	
23	アートマネジメント講座 講座	アートマネジメント関連講座 年2回		講座	100	0	0	0	0	160,000	0	20,000	150,000	0	0	20,000	350,000	-350,000		
			リハ室																	
24	区民公募企画事業 調整中	2月 各施設		体験 育成	300	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	10,000	60,000	-60,000		
			ホール																	
25	アウトリーチ① 区内施設/区内催事関連	調整中 年4回		鑑賞 体験	400	0	0	0	0	220,000	0	40,000	0	0	0	40,000	300,000	-300,000		
			ホール																	
26	芸術文化教育プラットフォーム	3校/5日程度想定		鑑賞 体験	5	60,000	300,000	0	0	300,000	0	30,000	0	0	0	13,000	343,000	-43,000		
27	次世代育成 インターン			体験	0	0	0	0	0	0	110,000	10,000	0	0	0	13,000	133,000	-133,000		
			ホール																	
28	共催・協力事業	公益性の高い事業に対して、優先予約や制作協力を行う。 かながわ音コンなど		鑑賞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			ホール																	
29	広報費（情報誌の発行ほか）	出演者や施設の紹介、地域の情報を含む情報誌の編集・発行。複合制作費・広報費。	毎月 年12回		0	0	0	0	0	0	0	0	660,000	0	0	0	660,000	-660,000		
30	ホームページ運営費				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	660,000	660,000	-660,000		
31	ホールでピアノ	大ホールのフルコンサートピアノを時間単位で貸し出し市民の演奏体験事業。		鑑賞	60	8,000	480,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	480,000		
			ホール																	
32	複合制作費	複数の事業にまたがる制作費、広報宣伝、備品購入等の販売促進事業費。			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	490,000	490,000	-490,000		
			ホール																	
					5,345		#####	110,000	297,000	7,334,000	550,000	225,000	2,825,000	716,000	447,000	1,526,000	14,030,000	-6,000,000		

令和7年度 都筑区民文化センター 管理計画表

項 目	業 務	内 容	委託先	年回数	実施月	令和7年										令和8年		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
電 気・機 械 設 備	設備総合巡視点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	電気設備点検	電気事業法に基づく定期点検	㈱エネサーブ神奈川	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	屋上電気設備週次点検	電気保安規程に基づく点検	日本環境プラント株式会社	－	1回/週	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自家用電気設備法定点検	電気事業法に基づく定期点検	㈱エネサーブ神奈川	1	12月									○				
	自家用発電設備負荷試験	消防法に基づく定期点検	㈱ウエスコ	1	4月	○												
	直流電源装置点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	1	10月								○					
	キュービクル配電盤点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	1	10月								○					
	空調設備保守点検	定期点検	新日本施設㈱	2	5・11月		○						○					
	PACフロンの簡易点検	定期点検	新日本施設㈱/東急ビルメンテナンス㈱	4	5・11月		○			○			○			○		
衛 生 管 理	汚水槽清掃	ビル管理法に基づく定期点検	㈱シーアイシー・アクアテック	2	6・12月			○						○				
	受水槽清掃	ビル管理法に基づく定期清掃	㈱シーアイシー・アクアテック	1	6月			○						○				
	雑排水槽清掃	ビル管理法に基づく定期清掃	㈱シーアイシー・アクアテック	2	6・12月			○						○				
	雨水貯留槽清掃	定期清掃	㈱シーアイシー・アクアテック	－	汚れ具合に応じて調整													
	雑用水槽清掃	定期清掃	㈱シーアイシー・アクアテック	－	汚れ具合に応じて調整													
	加圧給水ポンプ	定期点検	川本サービス㈱	1	6月			○										
	貯湯式電気温水器点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	1	11月								○					
	瞬間式電気温水器点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	1	11月								○					
	排水ポンプ点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	2	6・12月			○						○				
	雨水緊急遮断弁・緊急遮断弁	定期点検	㈱シーアイシー・アクアテック	1	6月			○										
	害虫防除	ビル管理法に基づく定期点検	㈱シーアイシー	6	偶数月	○		○		○		○		○		○		
	簡易専用水道検査	水道法に基づく定期検査	㈱シーアイシー・アクアテック	1	6月			○										
	飲料水水质検査	ビル管理法に基づく定期点検	㈱シーアイシー・アクアテック	1	6月			○										
	雑用水水质検査	ビル管理法に基づく定期点検	㈱シーアイシー・アクアテック	1	6月			○										
	空気環境測定	ビル管理法に基づく定期点検	㈱シーアイシー	6	偶数月	○		○		○		○		○		○		
建 物 等	昇降機保守点検（乗用）	建築基準法12条に基づく定期点検	東芝エレベータ㈱	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	昇降機保守点検（荷物用）	建築基準法12条に基づく定期点検	昌和輸送機㈱	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自動ドア保守点検	定期保守点検	㈱神奈川ナフコ	2	6・12月			○						○				
	電話・構内交換設備	故障時対応	NTT東日本	－	故障時対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	建築基準法12条検査(建築設備)	建築基準法12条に基づく定期点検	㈱ウエスコ	1	9月							○						
	建築基準法12条検査(建築物)	建築基準法12条に基づく定期点検	㈱ウエスコ	1/3年	9月							○						
	防火設備定期検査	建築基準法12条に基づく定期点検	㈱ウエスコ	1	9月							○						
	外壁サイン点検	定期保守点検	アオイネオン㈱	1	11月								○					
	免震装置点検	定期点検	㈱免振テクノサービス	1	11月								○					
	防音ドア点検	定期点検	東急ビルメンテナンス㈱	1	1月										○			
	スライディングウォール点検	巡回点検	コマニー㈱	1	1月										○			
	ピアノ調律・保守管理	定期調律、保守点検（D-274）		3	7月・11月・3月				○				○				○	
		定期調律、保守点検（リハ室）		4	5月・8月・11月・2月		○			○			○			○		
		定期調律（練習室）		6	4月・6月・8月・10月・12月・2月	○		○		○		○		○		○		
	ホール座席保守点検	定期保守点検		1	12月									○				
	舞台吊物機構設備保守点検	定期保守点検		3	6月・10月・2月			○				○				○		
	舞台照明設備保守点検	定期保守点検		2	5月・11月		○						○					
	舞台音響設備保守点検	定期保守点検		2	8月・1月					○					○			
	舞台映像設備保守点検	定期保守点検		2	9月・3月						○						○	
	楽器保守点検	定期保守点検		2	5月・11月		○						○					
清 掃 等	日常清掃	定期清掃	東急ビルメンテナンス㈱	－	休館日、年末年始以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	床定期清掃	定期清掃	東急ビルメンテナンス㈱	4	5・8・11・2月		○			○			○			○		
	窓枠・窓ガラス定期清掃	定期清掃	㈱松竹サービスネットワーク	4	6・9・12・3月			○			○			○			○	
	照明定期清掃	定期清掃	東急ビルメンテナンス㈱	1	－					○								
警 備	機械警備業務	定期点検	総合警備保障株式会社	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	中央監視装置点検	定期保守点検	アズビル㈱	1	1月										○			
防 災 等	消防設備点検	消防法に基づく定期点検	㈱ウエスコ	2	4・9月	○					○							
	防災管理点検	定期点検	㈱ウエスコ	1	9月						○							

※ 必要に応じて、行を追加していただいて構いません。

令和7年度「横浜市都筑区民文化センター（ボッシュホール）」収支予算書兼決算書

(07. 04. 01～08. 03. 31)

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	129,220,000		129,220,000		129,220,000	横浜市より
利用料金収入	23,200,000		23,200,000		23,200,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	9,210,000		9,210,000		9,210,000	
雑入	470,000	0	470,000	0	470,000	
印刷代	0		0		0	
自動販売機電気使用料収入	240,000		240,000		240,000	
預かりチケット手数料	120,000		120,000		120,000	
その他（ゴミ袋物販使用代・預金利	110,000		110,000		110,000	
収入合計	162,100,000	0	162,100,000	0	162,100,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	80,160,000	0	80,160,000	0	80,160,000	
給与・賃金	80,160,000		80,160,000		80,160,000	館長・副館長及び時給職員技術スタッフ含む11名 カルスタ10名
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	9,890,000	0	9,890,000	0	9,890,000	
旅費	120,000		120,000		120,000	
消耗品費	1,990,000		1,990,000		1,990,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	1,750,000		1,750,000		1,750,000	
通信費	2,710,000		2,710,000		2,710,000	公式Hpメンテナンス費含
使用料及び賃借料	120,000	0	120,000	0	120,000	
横浜市への支払分	120,000		120,000		120,000	
その他			0		0	
備品購入費	1,320,000		1,320,000		1,320,000	
図書購入費	310,000		310,000		310,000	階段下装飾費（年4回）
施設賠償責任保険	80,000		80,000		80,000	
職員等研修費	330,000		330,000		330,000	
振込手数料	300,000		300,000		300,000	銀行振込手数料
リース料	450,000		450,000		450,000	
手数料	300,000		300,000		300,000	横浜市（ソニーペイメント）、窓口キャッシュレス（楽天ペイ）
地域協力費	110,000		110,000		110,000	
事業費	11,160,000	0	11,160,000	0	11,160,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費	11,160,000		11,160,000		11,160,000	
管理費	52,068,000	0	52,068,000	0	52,068,000	
光熱水費	17,450,000	0	17,450,000	0	17,450,000	
電気料金	16,300,000		16,300,000		16,300,000	
ガス料金	0		0		0	ガス利用なし
水道料金	1,150,000		1,150,000		1,150,000	
清掃費	12,870,000		12,870,000		12,870,000	日常・定期清掃費
修繕費	800,000		800,000		800,000	
機械警備費	410,000		410,000		410,000	
設備保全費	20,538,000	0	20,538,000	0	20,538,000	
空調衛生設備保守	1,720,000		1,720,000		1,720,000	
消防設備保守	940,000		940,000		940,000	
電気設備保守	1,870,000		1,870,000		1,870,000	
害虫駆除清掃保守	264,000		264,000		264,000	
駐車場設備保全費	344,000		344,000		344,000	
その他保全費	15,400,000		15,400,000		15,400,000	舞台系保守点検含む
共益費			0		0	
公租公課	7,920,000	0	7,920,000	0	7,920,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	7,920,000		7,920,000		7,920,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	902,000	0	902,000	0	902,000	
本部分	902,000		902,000		902,000	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	162,100,000	0	162,100,000	0	162,100,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		